

タイトル	著者名	内容紹介
小説8050	林真理子	息子が部屋に引きこもって7年、このままでは我が子を手につか、自分も死ぬしかない。夜中に家中を徘徊する黒い影。次は、窓ガラスでなく自分が壊される――。
臨床の砦	夏川草介	この戦、負けますね。現役医師としてコロナ禍の最前線に立つ著者が自らの経験をもとに、命がけでコロナに立ち向かった小さな病院の知られざる物語を描き出す。